

シンポジウム
慶應義塾外国語教育への提言
(第四回)

— 目標設定のあり方と外国語学習の動機づけを考える —

慶應義塾の小中高大の教員が一堂に会して一貫教育の問題を議論するシンポジウム

外国語教育研究センター夏のシンポジウム「慶應義塾外国語教育への提言」は、四回目を迎えます。昨年の「つながる外国語学習、つたわる外国語教育」では、学習の接続性とコミュニケーションの視点を強化する方策について議論しました。今回は、目標設定のあり方と外国語学習の動機づけについて考えます。授業における目標はどのように設定すべきか、学習者個人の目標をどのように設定させるか、数値目標とcan doステートメントなどの記述目標の運用上の課題は何か、熟達度の差をカバーしながら、動機づけを高め、自律的な学習者を育てるには、どのような工夫をしたらいいか、各学部・学校の取り組みを見ながら議論したいと思います。センターでは、この取り組みを通して義塾の外国語教育の発展と、よりよい一貫教育の実現を目指したいと思います。

外国語教育研究センター所長 境 一三

日時：2010年7月23日(金) 13:00～17:40

場所：日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

総合司会：小原 京子(外国語教育研究センター副所長)

挨拶： 境 一三(外国語教育研究センター所長)

第1部：実践報告 13:20～15:30 (司会：境 一三)

倉本 和晃・宮崎 啓(高等学校)
宮田 睦(湘南藤沢中・高等部)
坂本 光(文学部)
柏崎 千佳子(経済学部)
レイサイド M. ジェイムス(法学部)
真嶋 潤子(大阪大学)

第2部：パネル・ディスカッション 15:50～17:40(司会：跡部 智)

真嶋 潤子(大阪大学)
坂本 光(文学部)
柏崎 千佳子(経済学部)
レイサイド M. ジェイムス(法学部)
倉本 和晃(高等学校)
宮崎 啓(高等学校)
宮田 睦(湘南藤沢中・高等部)

意見交換会 (18:00～20:00) 於ファカルティラウンジ

事前申し込みは外国語教育研究センターHPにて承っております。

<http://www.flang.keio.ac.jp/>



文部科学省学術フロンティア事業
「行動中心複言語学習 (AOP) プロジェクト」

慶應義塾大学外国語教育研究センター
Keio Research Center for Foreign Language Education
<http://www.flang.keio.ac.jp/>